

外宮参道発展会 (三重県伊勢市)



▲外宮参道発展会 会長の山本氏

“外宮”の魅力を伝える「外宮参道発展会」
～まちづくりは誇りづくり～

● 目的

外宮参道は、近鉄・JR・伊勢市駅から伊勢神宮の「外宮」に至る約400メートルの参道に形成された歴史ある観光広域型商店街だ。戦前までは豊作を祈願しに訪れる農業従事者が多かったため、内宮よりも外宮を訪れる参拝客の数の方が多かったそうだが、経済の成長と共に参拝客の層にも変化が見られるようになり、一時は外宮を訪れる人が内宮の3分の1まで減少した。外宮参道発展会では、外宮への感謝と尊崇の念を持って「まちづくりは誇りづくり」をテーマに掲げ、外宮ならではの魅力を伝えていく。

● 取組概要

20年に一度行われる式年遷宮に際して執り行われる諸神事のひとつである御杣始祭（みそまはじめさい）の後、切株に梢を刺して感謝を表す「鳥総立て」にちなんだ「とぶさだてプロジェクト」では、日々の暮らしを支えている農林水産に従事している方に焦点を当て、取材内容を2～3分の映像にし、SNSなどで発信。伊勢の“精神文化”としての側面も情報発信していく。この秋オープン予定の「菊一文庫カフェ（仮）」では、伊勢神宮にまつわる図書や映像を楽しめるほか、伊勢をより深く知ってお参りしてもらうためのワークショップやポップアップイベントを行うスペースとしても活用する計画だ。

● 今後の展開

伊勢神宮、特に外宮の素晴らしさを来訪者に発信し、“また訪れたい”と思ってもらえるようなまちを目指す。2033年の遷宮を大きな目標・2025年のお木曳きを目の前の目標とし、更なる魅力の磨き上げに取り組む外宮参道発展会。今後の活動も注目していきたい。